

事業番号	09 03 08	事業改善シート (28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	■ 点検
事業名	環境にやさしい農業総合対策事業			担当課	部局	農政部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・局・室	農業技術課	
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持つ信州農畜産物の生産			E-mail	nogi@pref.nagano.lg.jp	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-3 活力と循環の信州経済の創出		実施期間	H19 ~		
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換 ア 県内産業の競争力強化 ウ 農業の競争力強化					

1 事業の概要

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 多くの農業者が信州のすばらしい自然環境を大切にするという意識のもと、環境にやさしい農業に取り組む。 産地や農産物直売所等において組織的に取り組むことにより環境にやさしい農業の拡大と農業者の取組レベルの向上させる。 GAP(農業生産工程管理)への組織的な取り組みを拡大する。 	
現状(予算編成時)	<p>○消費者の「食の安全」や「環境」に対する意識は年々高まりを見せており、競争が激化しているマーケットでは、このような変化への対応の遅れが、競争力の低下につながっている。</p> <p>○本県においても、「エコファーマー認定制度」や「信州の環境にやさしい農産物認証制度」などにより環境負荷低減に取り組む事例はみられるが、面的・組織的な広がりまでには至っていない。</p> <p>○農産物の安全性を確保するためのGAPへの取組みはJAグループを中心に進んでいるが、直売所等の取組みが遅れている。</p>	
県が関与する理由	<p>県でなければ実施不可(法令等義務)</p> <p>県民との協働による実施: 実施は困難</p>	<p>【左記の説明、根拠法令等】</p> <p>・エコファーマー及び有機農業の推進、肥料の登録・更新については、法律に基づき県が実施することとなっている他、環境にやさしい農業とGAPへの取り組みの拡大については、国庫補助を活用しながら行うことが効果的である。</p> <p>長野県食と農業農村振興計画、消費・安全対策交付金実施要綱、持続農業法、有機農業推進法、肥料取締法、農業生産工程管理(GAP)の共通基盤に関するガイドライン</p>

成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)						
	<p>○信州の環境にやさしい農産物認証面積の拡大 1,763ha(H27)→2,040ha(H28)</p> <p>○生産者GAPに取り組むJA生産部会・農産物直売所の割合 19%(H26)→34%(H28)</p> <p>○有機農業技術研修会(講座)への参加者が、有機農業に取り組む割合 毎年25%以上</p>						
	② 事業内容 (単位:千円)						
	項目	実施方法	H28事業実績		H28		H29
				(当初)	(決算)	(当初)	
	1. 環境にやさしい農業実践プロジェクト(奨励・拡)	直接	・IPM(総合的病害虫・雑草管理)の推進 ・環境にやさしい農業実証ほの設置(23件)	4,762	4,047	4,423	
	2. GAPの推進	直接	・GAP推進大会(1回)、指導者研修会の開催(1回)	566	335	4,517	
	3. 有機農業参入・実践支援	直接	・技術支援・技術向上のための研修会等の開催(12講座)	477	313	428	
	4. 肥料登録・更新	直接	・新規登録、有効期間更新	89	20	82	
			合計	5,894	4,715	9,450	

事業コスト	区 分(単位:千円)				成果目標の達成状況									
	事業額	前年度繰越			27年度	28年度	29年度	項目	H26末	H27末	H28			H29目標
		当初予算	23,851	5,894	9,450	目標	成果				達成状況			
		補正予算	△ 1,900					信州の環境にやさしい農産物認証面積	1,627ha	1763ha		2020ha	1,926ha	未達成
		合計(A)	21,951	5,894	9,450	生産者GAPに取り組むJA生産部会・農産物直売所の割合	19%				20%			
	Aの財源	一般財源			5,440	5,041	8,684	講座参加者が有機農業に取り組む割合	26.7%	27%	25%以上	41.70%	達成	25%
		県債												
		国庫支出金			814	764	684							
		その他			15,697	89	82							
	決算額(B)			21,288	4,715									
概算人件費	職員数(人)			5.00	5.00	5.00								
	概算人件費(C)			41,380	39,570	39,570								
概算事業費(B(A)+C)			62,668	44,285	49,020									

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> 信州の環境にやさしい農産物認証面積について、生産者の取組み意識は高まっており面積は年々増加しているが、販売メリットが期待より低い品目については、更新しないグループもあったため、目標達成できなかった。 GAPに取り組むJA生産部会は9割を超えたが、農産物直売所については、着実に増えているものの、GAPの理解醸成や取組に向けた合意形成が進まず、目標を達成することはできなかった。 有機農業基礎技術講座では、JAS有機の制度から栽培についての講義であり、病害虫・土づくり等、高い評価をいただいた。有機農業に取り組むにあたり、資金・農地等の課題はあるが、有機栽培に活用できる技術、知識を確認できたことで、有機農業取組割合は、目標が達成された。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<p><input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施</p> <p>環境にやさしい農業は長野県農業のベースであるとの意識のもと、引き続きJA生産部会や農産物直売所等における組織的な取り組みを推進する。</p> <p>今後も県全体でのGAPへの取組を推進するとともに、オリンピック・パラリンピック東京大会の食材提供や輸出拡大に向けた国際的に通用するGAP認証の取得等に取り組む。</p> <p>有機農業の推進を図るため、基礎技術講座の開催により栽培技術支援を進めるとともに、銀座NAGANO deマルシェでのPR販売を行う等、販路拡大を進める。</p>
--------------------	---